



平成24年3月8日

## 三重県における災害用安否確認サービス 「災害用伝言ダイヤル(171)」の体験利用について

NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズの三社は、災害等の発生によって連絡が取りにくい場合、家族、親戚、知人などの安否情報をより確実に音声で確認できる手段として、「災害用伝言ダイヤル(171)(電話サービス)」<sup>※1</sup>を提供、運用しています。

「災害用伝言ダイヤル(171)」を、“いざ”という時にスムーズにご利用いただくには、日頃から家族、親戚、知人などの間で安否を確認するための「キーとする電話番号」<sup>※2</sup>を予め決めておくことや「自分の無事を伝える」ことに慣れていただくために事前に体験していただくことが有効であることから、「災害用伝言ダイヤル(171)」の体験利用期間を設定<sup>※3</sup>しています。

NTT西日本 三重支店(支店長: 仮屋 雄司)では、通常の体験利用期間<sup>※3</sup>に加えて、災害への関心が特に高まる東日本大震災発生日の平成24年3月11日(日)を体験利用日として、三重県において設定、運用します。

また「災害用伝言ダイヤル(171)」の利用方法が記載されたクイックマニュアルを、三重県内の3駅(近鉄四日市駅、津駅、伊勢市駅)にて配布する予定です。概要は次ページのとおりです。

※1. 「災害用伝言ダイヤル(171)」はNTTコミュニケーションズが提供するサービスですが、実際の災害発生時には、災害の発生地域等に応じて、NTT東日本およびNTT西日本がそれぞれ運用します。  
加入電話、公衆電話、ひかり電話(電話サービス)からご利用になれます。  
携帯電話やPHS、他通信事業者の電話からのご利用については、ご契約の各通信事業者へお問い合わせください。

※2. 「災害用伝言ダイヤル(171)」で「キーとする電話番号」として設定できる番号は、加入電話、ひかり電話の番号です。

※3. 毎月1日及び15日(0時~24時)、正月三が日(1月1日 0時~1月3日 24時)、防災週間(8月30日 9時~9月5日 17時)、防災とボランティア週間(1月15日 9時~1月21日 17時)

## ◆体験利用等の概要

1. 体験利用日 平成24年3月11日(日) 0時～24時  
\*実際に災害が発生した場合は、体験利用を中止する場合があります。  
\*伝言保存期間は6時間です。  
(6時間を経過しなくても「体験利用」終了で、伝言は削除します。)
2. 運用対象地域 三重県  
(三重県内の加入電話およびひかり電話の電話番号を、「キーとする電話番号」<sup>※4</sup>として体験利用ができます。)
3. ご利用料金 発信されるお客様から被災地の「キーとする電話番号」までの伝言の録音、または再生にかかる通話料(通常、電話をおかけになる場合と同様の料金)が必要です。伝言蓄積等のセンタ利用料は無料です。  
  
例えば、津の電話番号をキーに四日市から伝言を録音・再生する場合、四日市ー津間の通話料がかかります。  
\*体験利用の場合であっても、通話料は発生します。
4. クイックマニュアル配布 ※現物を添付します  
(1)配布日時 平成24年3月11日 10時～正午  
  
(2)配布場所 近鉄四日市駅  
津駅  
伊勢市駅  
  
(3)配布物 災害用伝言ダイヤル(171) クイックマニュアル  
\*資料として本リリースに添付します

※4.「キーとする電話番号」とは、音声ガイダンスにしたがって入力する『ご自宅の電話番号』または『連絡をとりたい被災地の電話番号』のことです。(携帯電話・PHS、「050」の電話番号から始まるIP電話等の電話番号を「キーとする固定電話番号」には設定できません。)

(参考)災害用伝言ダイヤルの操作方法を別紙として添付します。

以 上

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようお願いいたします。

ニュースリリースに記載されている内容は、報道発表時のものです。  
最新の情報と内容が異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

# 「災害用伝言ダイヤル（171）」の基本的操作方法

別紙

「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って伝言の録音、再生を行って下さい。

操作手順		伝言の録音		伝言の再生	
①	171をダイヤル	<b>1 7 1</b>			
②	録音または再生を選ぶ。	[ガイダンス] こちらは災害用伝言ダイヤルセンターです。録音される方は「1」、再生される方は「2」、暗証番号を利用する録音は「3」、暗証番号を利用する再生は「4」をダイヤルしてください。			
		(暗証番号なし)		(暗証番号あり)	
		<b>1</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>4</b>
		[ガイダンス] 4桁の暗証番号をダイヤルして下さい。 <b>XXXX</b>		[ガイダンス] 4桁の暗証番号をダイヤルして下さい。 <b>XXXX</b>	
③	被災地の方の電話番号を入力する。	[ガイダンス] 被災地の方はご自宅の電話番号、または、連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルして下さい。被災地域以外の方は、連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルして下さい。 <b>0XX XXX XXXX</b>			
<b>伝言ダイヤルセンターに接続します。※1</b>					
④	メッセージの録音 メッセージの再生	[ガイダンス] 電話番号0XXXXXXXX(、暗証番号XXXX)の伝言を録音します。プッシュ式の電話機をご利用の方は数字の「1」のあとシャープを押して下さい。ダイヤル式の方はそのままお待ち下さい。尚、電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直し下さい。			
		ダイヤル式電話機の場合	プッシュ式電話機の場合	ダイヤル式電話機の場合	プッシュ式電話機の場合
		(ガイダンスが流れるまでお待ちください)	<b>1 #</b>	(ガイダンスが流れるまでお待ちください)	<b>1 #</b>
		[ガイダンス] 伝言をお預かりします。ピツという音の後に、30秒以内でお話下さい。お話が終わりましたら、電話をお切り下さい。	[ガイダンス] 伝言をお預かりします。ピツという音の後に、30秒以内でお話下さい。お話が終わりましたら、数字の9の後シャープを押して下さい。	[ガイダンス] 新しい伝言からお伝えします。	[ガイダンス] 新しい伝言からお伝えします。伝言を繰返す時は、数字の8の後シャープを、次の伝言に移る時は、数字の9の後シャープを押して下さい。
		伝言の録音		伝言の再生	
		(ガイダンスが流れるまでお待ちください)	録音終了後 <b>9 #</b> [ガイダンス] 伝言を繰返します。訂正される時は数字の8の後シャープを押して下さい。 録音した伝言内容を確認する。	[ガイダンス] お伝えする伝言は以上です。	[ガイダンス] お伝えする伝言は以上です。伝言を追加して録音される時は、数字の3の後、シャープを押して下さい。 (ガイダンスが流れるまでお待ちください)
[ガイダンス] 伝言をお預かりしました。		[ガイダンス] お伝えする伝言は以上です			
⑤	終了	自動で終話します。			

通話料は発生しません

通話料が発生します※2

※1センタ利用料について

伝言録音・再生を行うためのセンタ利用料は無料です。

※2通話料について

「メッセージの録音」操作時において、録音できる伝言数を超えていた場合、または、「メッセージの再生」操作時において、お預かりしている伝言がない場合は通話料はかかりません。

**覚えてください、災害時の声の伝言板 災害用伝言ダイヤル(171)**